れます。 様に課題が見ら には、昨年と同

を選択する問題して適切なもの味を正しく理解

0

(資料2) 中学校数学A

(誤答例)

の割合

平行な面では なく、垂直な面

を解答した生徒

市11.6%

県 5.1%

[正答率] 市

直方体の面を1つ選んで書きなさい。

し、国語Bの「書問題は県平均並な

こは、全国平均を下回国語Bの「書くこと

「書くこと」

みでした。

のしか

次の図の直方体には、辺CGに平行な面がいくつかあります。そのうちの

67.6% 全国

中学校国語

100

中学校国語A

の言語に関する

た。また、

また、

文の・

内容や

問題の 回りまし

意

習

成

29年度

文部科学省では、 今年度は4 18日に調査が実施され、 「全国学力・学習状況調査」平成19年度から小学6年、 を実施してい 中学3年の児

質問紙調査も実施しています。います。さらに、児童生徒の生活習慣や学習環境等に関するに活用に関する問題(国語Bおよび算数・数学B)となって主に知識に関する問題(国語Aおよび算数・数学A)と、主主に知識に関する問題(国語Aおよび算数・数学について、 童生徒を対象に、 題(国語Bおよび算数・数学B)となって問題(国語Aおよび算数・数学A)と、主調査は、国語および算数・数学について、18日に調査が実施され、8月28日に結果が

| 結果の考察(小学)

小学校は、市の平均がす教科に関する調査 (表1)

平均と比べるとやや下回る結果むね良好と言えますが、秋田県の教科で全国平均を上回りおお小学校は、市の平均がすべて となりまし

(表1) 小学校6年 平均正答率の比較 100 国語A 国語B 算数A 算数 B ■にかほ市 ■秋田県 □全国

小学校国語は

きさの

< ?

つ分かで比べる方

長さや、

かさ、

重さなどで繰

り返し指導されます。

指導に当

結果が見られました。 しかし、 る問題で県平均とほぼ同等小学校国語は、主に知識に 主として活用に関す の関

回っていました。自分の考えを 構成を工夫することが必要です。 それぞれの段落の内容として どのようなことを書けばよいの か考えたり、自分の考えをして いっていました。自分の考えを 明確こまた。自分の考えを回っていました。自分の考えをでは、全国平均と比べてやや下では、全国平均と出べてやや下 る問題で「目的や意図に応じて ように指導することが大切です

2本のえんぴつの 長さを、えんぴつのはしをそろえて立て、

どちらのえんぴつの

先が高いかで比べま

す。

数量関係の領域で県平均を上回する問題で、数と計算や図形、小学校算数は、主に知識に関 ることができました。 小学校算数は、 小学校算数

任意単位による測定は、同じ大は、全国平均より下回りました。解しているかどうかをみる問題解しているかどうかをみる問題しかし、(資料1)のようにしかし、(資料1)のように

点を見い出したりする活動が考の量の測定の方法について共通方法を想起したり、異なる種類たっては、既習の比較や測定の えられ のりと消しゴムの重さを、 てんびんを使って、同じ重さ ます。

の積み木の個数で比べます。 積み木 積み木



[正答率] 全国70.7%



(資料1) 小学校算数A 62.3% 75.0%

|| 課題の解決に向け

たり、広げたりすることができたり、広げたりすることができたり、広げたりすることから、学られました。このことから、学校教育において、新学習指導要校教育において、新学習指導要で当指す「主体的・対話的で調の改善を行い、子どもたちができ ら取り組んで 、 ている」「自分たちで立てた」前で自分の考えや意見を発表 資質・能力を身に付けて 学習内容を深く理解し、 活動を通じて自分の考えを深め とが必要です。 り組んでいた」「話刈して、自ら考え、 度の調査から、 「自分たちで立てた課 「話し合う 「友達の 必要な 自分か 11 <u>ر</u> ک

にあることが分かりました。単生徒ほど平均正答率が高い傾向よっては、予習、復習する児童にも課題が見られます。教科に にも課題が見られます。教科にわれていることを理解することこのほか、問題文を読んで問

ともご協力をお願いします。たちの学力向上のために、今後たかは市の未来を担う子ども 庭学習から、思考を要する学習なるドリル学習や復習中心の家 台の深化を促すこり組めるように、 化を促すこと 家 広報にかま 29.10.1

質問紙調査

結果の考察

(中学)

●中学校数学

が必要です。平均と比べる

では、

県平均を下

回って

もあり、さらなるレベルアップ半均と比べると差が大きい教科半均を上回っていましたが、県中学校は、国語B以外は全国

かし、

数学 Aの

「関数」

います。

では県平均を上回

「図形」

っました。

中学校数学Aの

「資料の活用」

中学校は、国語B以外は教科に関する調査(表2)

(表2) 中学校3年 平均正答率の比較

数学A

数学B

■秋田県 □全国

て証明する

る問題に課題が見ら

に課題が見られたして筋道立て

平均

かどうかなど、

技能を問う問題(資料2)

や 三

角形の合同を利用

例定数」

かなど、基本的な知識や」の意味を理解している」

国語B

■にかほ市

小学校 4 年算数 でも、直方体に関

連して、直線や平

面の平行や垂直の

関係について学習

67.0%

日に2時間以上

国語A

答している児童生徒の割合も高めには良いことろがある」「地分には良いことろがある」「地分には良いことろがある」「地方には良いことろがある」「地方には良いことろがある」「地方には良いことろがある」と同答した児童 < ーセント以上も上回っています生徒の割合は、全国平均を20パ勉強している」と回答した児童 中学校ともほぼすべての質問 特に「家で自分で計 目で良好な回答をしています。 しかし、 質問紙調査の結果では、 良い し、「一日に2時間い傾向と言えます。 画を立てて

育を実践していた情報モラル教 ること、 なって 県平均より多 徒の実態に応じ 庭で決めたル ットをする時間」 たりの携帯電話やスマ 勉強している」 ムをする時間」 ンで通話、 生徒の割合は、 児童生 、ます。 11 また、「一日当県平均より低く 2傾向にあり、家は昨年と同様、 jų, と回答した児童 をし 「テレビゲ インターネ つ かり守家 トフォー

56.5% 県



庭学習の や予 も重要です。

子習の内容の子習に取り知

学校教育課番38・226

6